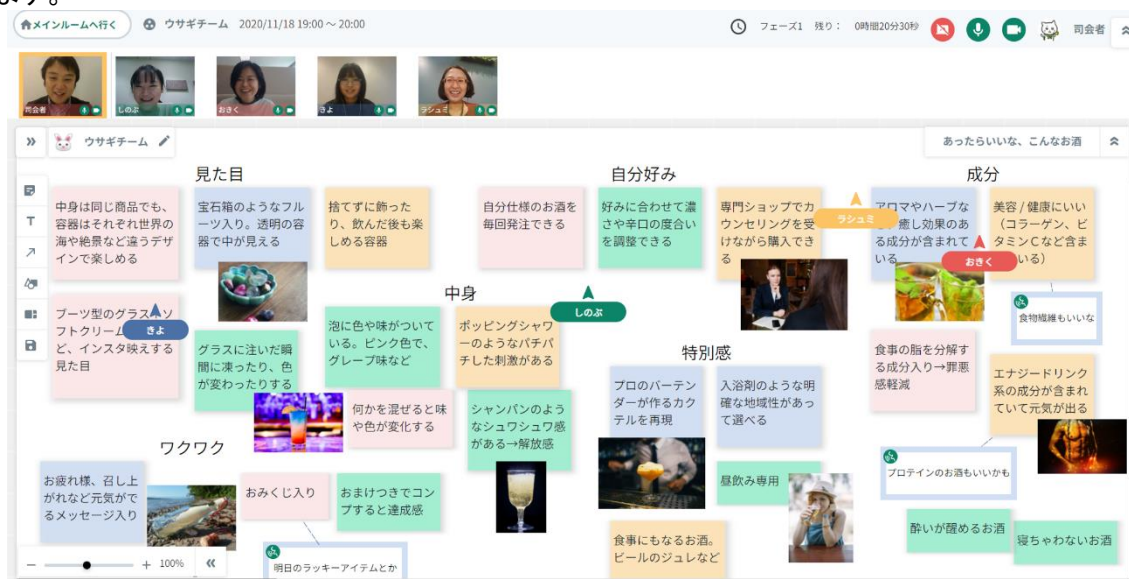


## 企業の商品開発や課題解決のためのアイデア出しに 活用できるオンラインワークショップシステムを共同開発 ～AI技術で議論の活性化を促す～

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:檜垣 歩、以下:インテージ)の定性調査専門のグループ会社、株式会社インテージクオリス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小島 賢一、以下:インテージクオリス)は、株式会社エクオス・リサーチ(東京本社研究所:東京都千代田区、取締役社長:縦山 尚久、以下:エクオス・リサーチ)と協働し、オンラインワークショップシステム「DIGI-LAB」の開発を開始しました。2021年1月の提供開始を予定しています。

本システムは、企業が商品・サービス開発などさまざまな目的のために実施する「ワークショップ」をオンライン上で行うために開発したものです。デジタル付せんやビデオチャットといった機能を実装し、オンライン上でも議論やアイデア出しを活発に行うことが可能です。また、組織内の会議やディスカッション、教育機関での共同研究など多様な用途でご活用いただけます。



### ■ 開発の背景

近年、マーケティング活動の意思決定や新事業開発、新商品・サービス開発のフェーズにおいて「ワークショップ」を活用する企業が増えてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により、大人数が1か所に集まり密に議論をする、従来の形でのワークショップは開催が難しくなっています。そこで、オンライン会議システムやオンラインホワイトボードを使って、オンライン上でのワークショップ(以下、オンラインワークショップ)が開催されるようになりました。

オンラインワークショップは、「どこからでも参加できる」「画面上で資料の共有がしやすい」「ワークの保存がしやすい」「インターネットで検索したイメージ画像などを共有しやすい」といったメリットがある一方で、さまざまな課題も浮かび上がってきています。例えば、ツールによっては英語のインターフェースしかなかったり、ワークをする上で外部のツールを組み合わせて使用する必要があったりするなど、企画や実施に制限がある場合も少なくありません。

そこで、ワークショップの企画・実施に知見を持つインテージクオリスと、自然言語処理をはじめとした技術を持つエク

オス・リサーチは、リアルの場に集うワークショップの良さとデジタルの強みを兼ね備えた新しいオンラインワークショップシステムの共同開発に着手しました。

本システムは、日本語のインターフェースで、ワークをする上で必要な機能やツールが組み込まれているため、外部のツールを組み合わせる必要がありません。また、エクオス・リサーチの言語処理を活かした機能が搭載されており、リアルの場に集うワークショップを単にオンライン上で再現するのではなく、デジタルでさらに進化したワークショップを行うことが可能になりました。

#### ■ DIGI-LAB の特徴

- 日本語対応
- 機能、ツール：
  - 全員で情報共有できる「メインルーム」と、少人数で議論ができる「サブルーム」の往来が可能
  - ビデオチャット機能:参加者全員の顔を一度に表示するビデオチャット機能
  - デジタル付せん:人やテーマによって色を変えたり、自由に移動したり、サイズを変えることが可能
  - テキストボックス、四角や矢印などのオブジェクト:付せんのグルーピングや関係性の図示に使用可能
  - 複数のボード(ホワイトボード)の設定
  - コンセプトシートなど、ワーク用のテンプレートを予め設定できる

オンライン、デジタルならではの強みを活かした機能、ツールとして以下を実装:

- キーボードだけでなく、音声でテキストを入力可能
- 画像や動画、ファイルをボードに貼付・共有する機能
- ボードのダウンロード機能(PDF)

#### ■ 今後実装予定の機能、ツール

- 付せんの「いいね」ボタン、投票機能などによる参加者の反応の見える化
- ワークシートのテンプレート組み込み

AI 技術を活用した先進的な機能を拡充予定:

- デジタル付せんの整理の自動化:付せんのテキストを解析し、ワークボードを自動的に集計・分類、構造化できる機能
- 発想を促す仕組み:ワークショップ中の議論を解析して、集計結果を可視化したり、関連する情報を自動で提示し、参加者のさらなる発想を促す

#### ■ DIGI-LAB の用途(例)

- さまざまな目的のワークショップ  
【例】
  - 商品開発
  - ブランド構築
  - 顧客理解(ペルソナ、カスタマージャーニーマップ)
  - 事業課題の分析 など
- 組織内の会議やディスカッション
- 教育機関での共同研究

DIGI-LAB は、エクオス・リサーチがシステム開発・運用・保守し、インテージクオリスが販売する予定です。

今後もインテージクオリスは、生活者の行動・心理の深い理解とテクノロジーを融合させ、お客さま企業の商品開発やマーケティングを支援してまいります。

【株式会社インテージクオリス】 <http://www.intage-qualis.co.jp/index.html>

年間 13,000 人以上の生活者インタビューを実施する定性調査会社です。30 年以上にわたる豊富な経験をベースに、常にイノベティブな調査手法で生活者の実像に肉迫し、お客さま企業のマーケティングを支援しております。

【株式会社インテージ】 <https://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:檜垣 歩)は、「Create Consumer-centric Values ~お客様企業のマーケティングに寄り添い、共に生活者の幸せを実現する」を事業ビジョンとして掲げ、さまざまな業界のお客様企業のマーケティングに寄り添うパートナーとして、共に生活者の幸せに貢献することを目指します。生活者の暮らしや想いを理解するための情報基盤をもって、お客様企業が保有するデータをアクティベーション(活用価値を拡張)することで、生活者視点に立ったマーケティングの実現を支援してまいります。

【株式会社エクオス・リサーチ】 <http://www.equos.co.jp/>

優れた移動体である「馬」(ラテン語でエクオス)の様な車の実現を目指し活動を開始した会社です。現在は「車」のみならず「未来社会における“人の想い”」にフォーカスし、“人の想い”を実現する商品の開発に挑戦している会社です。

#### ■お問い合わせ先

株式会社インテージクオリス 広報担当:星(ほし)／若井(わかい)

サイト「お問い合わせフォーム」 <http://www.intage-qualis.co.jp/contact/index.html>